

広田小(陸前高田)児童 氷上に笑顔 金ケ崎の場 奥州の団体が招待



元気にスケートを楽しむ広田小の児童ら

奥州市のボランティア団体「奥州♡絆の会」(渡辺明美会長、18人)は10日までの2日間、陸前高田市の広田小の児童らを招き、冬休み

の思い出づくりを手助けしている。児童24人と保護者が参加。9日は金ケ崎町永栄のみどりの郷のアイスアリーナでスケ-

トを楽しんだ。

招待は東日本大震災後に始め、今年で5回目。毎年参加している児童は初めから手すりにつかまらずに滑り、同団体のメンバーらが目を細めて見守った。

初めて参加した村上柚月さん(広田小3年)と大輝君(同2年)きょうだいは「早く上手に滑れるようになりたい」と笑顔。祖母の安江さん(61)は「遊ぶ施設がない広田では家にこもりがちだが、きょうは楽しそう。(団体との)絆に感謝したい」とほほ笑んだ。